



授業用ポータルサイト
https://e-sahf.jp/ps



問題解決の思考法

第3回 問題解決の方法(2)



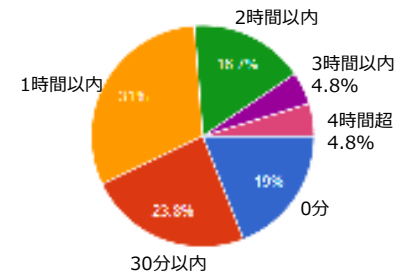
問題定義

問題とは現状とあるべき姿との**ギャップ**を指す。

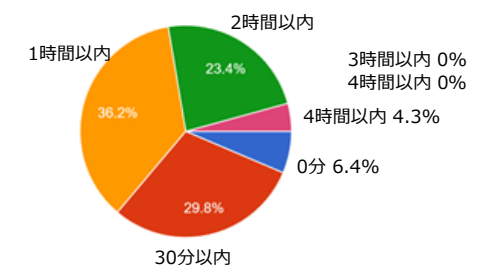
<問題定義>

大学設置基準では1科目当たり、1週間に約4.5時間の授業外学修を行うことを求めているが、実際には、**1時間以内の学修時間の学生が7割強の状況である。**

①クラス



②クラス



アンケートの結果確認

	はい	いいえ	はい	いいえ
アルバイトで忙しく時間が取れない	7	59	10.6%	89.4%
部活やサークル活動で忙しく時間が取れない	11	55	16.7%	83.3%
アルバイトやサークルの方が勉強より楽しい	22	44	33.3%	66.7%
勉強をするのが面倒くさい	45	21	68.2%	31.8%
たくさんの娯楽があり誘惑に負けてしまう	49	17	74.2%	25.8%
勉強をやる気がでない	42	24	63.6%	36.4%
一人暮らしで家事が忙しい	25	41	37.9%	62.1%
家に学修環境が整っていない	4	62	6.1%	93.9%
何を勉強したらよいかわからない	43	23	65.2%	34.8%
まだ新しい生活に慣れておらず時間がない	46	20	69.7%	30.3%
大学が家から遠く通学に時間がかかる	19	47	28.8%	71.2%
大学の授業だけで疲れてしまう	56	10	84.8%	15.2%
勉強する習慣が身につけていない	39	27	59.1%	40.9%



アンケートの結果確認

	はい	いいえ	はい	いいえ
課題がすぐに終わってしまい、4.5時間もかからない	44	22	66.7%	33.3%
4.5時間も授業外学修が必要とは知らなかった	48	18	72.7%	27.3%
課題以外に予習復習をする時間がない	27	39	40.9%	59.1%
帰宅したら疲れが出て勉強する気がなくなる	53	13	80.3%	19.7%
勉強の方法がわからない	35	31	53.0%	47.0%
授業だけで理解できてしまう	13	53	19.7%	80.3%
他に熱中するものがあるためやる気が起きない	31	35	47.0%	53.0%
難しい科目があり、勉強が進まない	35	31	53.0%	47.0%
勉強をするのが面倒くさい	45	21	68.2%	31.8%
勉強をしてストレスをためたくない	30	36	45.5%	54.5%
自分の時間を確保したい	62	4	93.9%	6.1%

アンケートの結果確認

	はい	いいえ	はい	いいえ
授業を取りすぎた	11	55	16.7%	83.3%
帰りの時間が遅いので時間が取れない	25	41	37.9%	62.1%
趣味に時間を使いたい	58	8	87.9%	12.1%
疲れをためないように睡眠時間を確保したい	53	13	80.3%	19.7%
資格の勉強をしていて授業に関する勉強をする時間が取れない	8	58	12.1%	87.9%
レポート作成に慣れておらず時間がかかり面倒と感じる	41	25	62.1%	37.9%
4.5時間という設定自体に無理がある	53	13	80.3%	19.7%

問題解決の流れ

問題の定義	問題:現状とあるべき姿とのギャップ	例:〇〇先生の「△△学」の履修者が少ない
原因の洗い出し	問題発生に影響した可能性のある原因の候補の列挙	<ul style="list-style-type: none"> ・難しい ・つまらない ・宿題が多い ・同時に他科目が多い ・1限は起きられない ・話し方が嫌い
問題点と課題の設定	本当に原因かどうかを調査(資料調査、アンケート等)	問題点 :原因の中で改善可能なこと 「難しい」: 問題点 「話し方が嫌い」は問題点にならない
解決策の検討と選択	課題解決策を検討し、効果やコストの観点で取捨選択	課題 :問題点の解決のために行うこと 「難しいと思っても受講するためにはどうしたらよいか」= 課題 <ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ意義を理解してもらう ・具体例を増やしてわかりやすく ・予習を習慣化する ・全員にTAをつける ・授業を録画し復習できるようにする
企画書の作成と発表	上司、委託元等からの承認を得る	
解決策の実行と評価	効果の有無を確認しフォローアップを行う	「授業オンデマンド配信ポータルサイト パーチャラーモンズ」

課題① 問題点の明確化

- アンケート結果を踏まえ、問題点(該当者が多い問題の中で改善可能なもの)を定める
 - 質問の詳細さのレベルが異なる点にも注目
- 問題点は1つに絞り込まない方がよい
 - 絞り込むと、効果的な対策が出てこない場合に対応が難しくなる
 - 今回は2つ選ぶ

課題①続き 課題の検討方法

問題点への対応の視点	例:「知らない」が問題点
① 問題点を 除去	①「知らない」を除去するためには=全員が把握するためには
② 問題点の 影響を緩和	②知らなくても影響がないようにするためには=知らなくても授業外学修をするためには

→ が課題になる

課題はわくわくするような問いの形で表現した方が解決策のアイデアが出やすい(経験則)

- コロナ禍で外出できず、ずっと家にいても気持ちが滅入らないようにするためには
- コロナ禍で毎日家にいても、わくわくした気持ちを持ち、楽しく過ごすことができるようにするためには

課題① 問題点と課題記入シート

問題点	①
	②
課題	①-1
	①-2
	②-1
	②-2

課題② 解決策（企画）案の検討

- チームごとに設定をした課題に基づき、解決策（企画）案を検討する（課題①-1、①-2、②-1、②-2の1つについてでもよいし、複数についてでもよい）
 - ブレインストーミングを行い1人当たり10以上の解決策（企画）案を検討する。カード整理法により案を整理・具体化する
 - 効果・実行のしやすさの観点でマッピングし、解決策（企画）案を決定する

手順①解決策の検討（ブレインストーミング）

- できる限り多くの解決策案を考える（多くのアイデアが出た方が、よい解決策が見つかりやすい）
 - 4～8名のメンバが思いついたことを次々と発言（付箋や模造紙に書く）
 - 全員参加の会議を進めるために4つの原則あり

原則	具体的な内容
批判厳禁	出された意見に批判をしない。批判をすると発言しづらくなる
自由奔放	自由奔放な意見を歓迎し、どんな意見でも必ず取り入れる
質より量	発言は多いほど良い。多ければ質の高い意見が出てくる可能性が高くなる
結果改善（便乗歓迎）	他人の意見に便乗し、そこから連想されることを意見としてあげてを歓迎する

手順②解決策の整理（カード整理法）

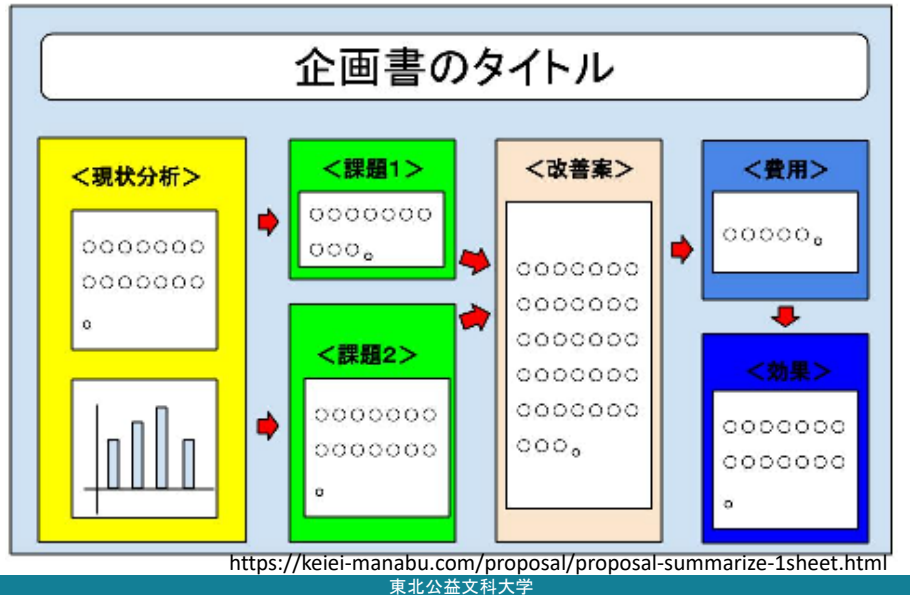
出された対策案を類似性に基づいて分類、整理

- 付箋やカードに意見やアイデアを1つずつ記入。大きな字で書き、遠くからでも見えるように。
- 内容が似ているカードをまとめる。
- 各カード群に**代表する名称**を付ける。
- （カードを模造紙等に貼り付け枠線で囲む。）

- 通常、③では「声かけ」「宿題を課す」のような抽象的な見出しをつける
- 今回は、分類された解決策案のよい点を取り入れ、**具体的な解決策案を記載**するとよい



一枚ものの企画書 例(A3版)



Webサイトリニューアルの提案

企画資料(良い例)

現状分析

アクセス解析基本データ(7月)	
セッション数	89,357
ページビュー	115,671
平均ページビュー	1.29
直帰率	52.82%
平均サイト滞在時間	02:21:27

上記を見ると、6割近くが1ページを閲覧だけで、サイトを離れている現状がある。

課題と今後の方向性

平均ページビュー: 減少 直帰率: 増加
Webサイトでの情報見直しが必要。新製品発表向けに改善している状況が懸念。

新製品以外のコンテンツ提供が改善性向上に不可欠。Webサイトへの改善が必要。

リニューアル後の数値目標

平均ページビュー: **2.5ページ以上**
直帰率: **45%以下へ**

リニューアルにおける施策内容

平均ページビューを増加させる
ユーザーは新しいコンテンツに期待してアクセスして、結果、コンテンツがないと判断したため平均ページビュー、直帰率ともに悪化したと考えられる。

直帰率を減少させる
(施策内容)
● 国産車の深いページを掲載
● 国産車の深い国産車掲載
● それぞれに特徴を挙げる

リニューアル内容

- 最新製品情報に依存されない情報発信
- トップページでの更新情報発信
- (アクションプラン)
- ユーザーが求める更新コンテンツをアンケートにより把握してコンテンツを決定
- 更新情報が一目で分かるデザイン改善

Webサイトの状況...
3月まで、新製品などが定期的に発表されていたが、その後、新製品がなくなり、Webサイトでのニュースリリースの数も減っていった。

アクセス解析の直帰率(7月)

ページ	直帰率	ページビュー
トップページ	18.3%	58,388
国産車一覧	42.4%	13,584
国産車	51.2%	5,452
国産車	52.2%	2,224
国産車	68.3%	1,624

矢印の直帰率を10%以上減少させることで、サイト全体の直帰率を減少させることが可能。

<https://webtan.impress.co.jp/e/2008/09/09/3786>
 東北公益文科大学

課題③ 次週の発表に向けた準備 (続き)

- スライド資料 (企画書) への記載事項
 - ① チーム名とメンバー氏名 (左上)
 - ② チーム番号 (右上)
 - ③ タイトル
 - ④ 現状
 - ⑤ 課題 (問題点を探るアンケートを踏まえて、何を課題と捉えたか。) ※最大4つ
 - ⑥ 解決策 (できる限り具体的に)
 - ⑦ 期待される効果

----- 一般的な企画書には以下も記載

 - ・ 予算
 - ・ スケジュール
 - ・ 課題

課題③ 次週の発表に向けた準備 (続き)

- 解決策はできる限り具体的に
 - ・ 例: **ポスターを作って意識啓発**をする

どんな内容?
大きさは?
どこに貼るの?
何枚貼るの?
デザインは?

具体的でないとし悪しの判断ができない。できる限り具体的に書こう。



(参考) 昨年度S1で1位のチームへのコメント

①クラス

- ・ スライドがとても見やすかったし、まとめ方も上手だった。
- ・ 分かりやすかった、資料が見やすかった
- ・ 見やすく分かりやすい
- ・ 発表資料がとても見やすかった
- ・ わかりやすい図表を用いて説明されていた。
- ・ 資料が見やすく効果も出そうだった
- ・ 資料のレベルが高すぎる！話し方も丁寧に声量も充分で分かりやすかった。
- ・ 手書きプリントの内容がとてもいいから。
- ・ 資料もとても見やすくて、効果や改善案も非常に良かったから
- ・ 資料が1番綺麗で見やすかった。
- ・ 資料が見やすかった
- ・ 見やすくて、改善策なども実行しやすそうだった

②クラス

- ・ タイトルが良かった
- ・ 色使いが綺麗で見やすかった。解決策も実現可能そうだったしすぐに効果が出そうだったと思った。
- ・ 話す時間、内容全てにおいてよかったです。わかりやすかったです
- ・ 配色が良く見やすかった
- ・ 話すペースも良く、図がとてもわかりやすかったから。
- ・ インプット、アウトプットの仕組みを上手く利用できていたと思ったから。
- ・ 先輩のノートをコピーして勉強のために参考にするのは、私も実践したいと思った。
- ・ ピラミッドなどのほかの人たちがやらないようなデータも取り入れていたから
- ・ 時間配分が上手かった。図の説明が上手かった
- ・ 解決策の説明がわかりやすかった
- ・ 2:59はえぐい

東北公益文科大学



授業外課題

- ・ スライド資料（企画書）を完成させる
- ・ スライド資料（企画書）の作成方法
 - ・ 太めのペンで書いた方がよい
 - ・ 黒一色よりもカラフルな方がよい
- ・ スライド資料（企画書）の提出方法
 - ・ **提出期限：5月1日（水）12時**
 - ・ 提出場所
 - ・ ①クラス：神田先生(共同研究室F)研究室前の提出箱
 - ・ ②クラス：古山先生(共同研究室E)研究室前の提出箱

東北公益文科大学



出席課題

- ・ 以下のテーマについて、指定のWebページに回答する

- ① 問題解決の進め方の理解状況を5段階で評価し、理由を説明する（わからないことがある場合は具体的に記載）

5：完璧

4：おおむねOK

3：半分くらいは理解した

2：あまり良くわからない

1：全くわからない

ポータルサイトにアンケートへのリンクあり



東北公益文科大学



参考書



世界一やさしい問題解決の授業—自分で考え、行動する力が身につく

渡辺健介著

ダイヤモンド社

2007年発行

1,320円

東北公益文科大学